

2009年8月25日

東レ株式会社
中国藍星（集団）股份有限公司

中国における水処理合弁会社の設立と起工式について

～ RO膜の生産設備着工 ～

東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：榊原 定征、以下：東レ）と中国藍星（集団）股份有限公司（本社：中国・北京市朝陽区、董事長：任 建新、以下：藍星）は、去る7月17日北京市に水処理事業の合弁会社「藍星東麗膜科技（北京）有限公司」（英文社名：Toray BlueStar Membrane Co. Ltd.、以下TBMC社）を設立しました。新会社の資本金は3,500万USドル（約35億円）で、180人の雇用を確保し、水処理膜製品の製造・販売および輸出入を行います。

TBMC社は昨日、北京市順義空港工業開発区内にて新工場の建設に着工するべく、東レの榊原定征社長と中国化工集团公司の任建新総経理の参加の下、起工式を執り行いました。ご来賓として中国側からは、北京市人民政府経済・信息化委員会副主任 汪進軍閣下、北京市順義区副区長 林向陽閣下、日本側から経済産業省製造産業局の平工奉文局長、在中国日本国大使館の波多野淳彦公使 など約60名をお迎えし、また関係者約50名が参加しました。この新工場への設備投資額は約5億元（約75億円）で、逆浸透（RO）膜の製膜・組み立てを2010年4月から逐次開始する計画です。

生産設備は、東レの最新鋭技術に基づく高速ポリアミド複合膜製造設備およびエレメント自動巻囲機を導入します。これにより東レグループは、新工場が稼動する2010年には、既に生産を行っている愛媛工場とトーレ・メンブレン・USA社と合わせて、逆浸透膜エレメントの年間生産能力を1.5倍へ引き上げます。

TBMC社は、東レの連結子会社として東レの水処理膜に関する最新技術を導入する一方、藍星の中国における営業ネットワークを活用することにより、中国における下廃水リサイクルや海水淡水化プラント案件向けに、世界一の品質・コスト競争力を持つ水処理膜を供給し、これによりRO膜を中心とした東レの水処理膜のグローバルなプレゼンスを一層強化していきます。

東レは、水処理事業を2010年以降の収益拡大の柱とするべく、「戦略的育成事業」と位置付けて経営資源の重点投入を行っております。東レグループの水処理事業の中期計画では、2010年度の売上高を670億円、2015年度には1000億円以上とすることを目標としており、今回のTBMC社設立と新工場の稼動により、本計画の達成がより確実なものとなりました。

一方、藍星は中国化工集团公司（ChemChina）傘下の中核的企業集団で、樹脂・特殊化学品（薬品）事業などを展開し、世界で45工場、17研究所を持ち、昨年度の売上高は400億円を越えています。そのグループ内に中国最大の水処理エンジニアリング会社を有し、中国内で廃水再利用と海水淡水化事業を積極的に展開しています。同社がこのたび東レと共にTBMC社を設立し、生産設備を新設することは、水処理ビジネスにさらに強くコミットするもので、お客様のニーズに迅速に対応し、安定した製品供給を可能にします。

水処理膜は、分離対象物の大きさによって逆浸透（RO）膜、ナノろ過（NF）膜、限外ろ過（UF）膜、精密ろ過（MF）膜の4種類に分類されます。東レは世界で唯一、自社開発により4種類全ての膜をラインナップしている膜メーカーであり、今後は世界規模で深刻な水不足も心配される中、様々な水源から様々な水質の水を作ることができる水処理膜の総合技術力が注目されています。

特に中国では、高い経済成長を遂げる中、工業化の進展により水の使用量が急激に増加しています。また、都市部では人口増加により、水需要が急増する一方、北部では旱魃の影響などにより、水の供給不足問題が起きています。

東レ株式会社 広報室 < 東レホームページ <http://www.toray.co.jp/> >

【東京】〒103-8666 東京都中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー 25 階 (TEL 03-3245-5179)

【大阪】〒530-8222 大阪府大阪市北区中之島 3-3-3 中之島三井ビルディング 30 階 (TEL 06-7688-3085)

こうした需要に対応するため、水処理膜による下廃水の再利用、海水淡水化等の需要が高まっていることから、中国でのRO膜需要は年率20%以上の成長を続けており、世界中から膜メーカーが進出しています。東レは、同市場が5年後には500億円に達すると推定しており、そのうち30%のシェアを目指します。

東レグループは、世界的な水処理膜市場の急拡大に対応して6拠点体制（日・米・欧・中東・中国・アジア太平洋）で事業を展開するとともに、世界トップレベルの「膜およびその利用技術」をコアとして、今後も引き続き、中国のみならず中東、地中海、大洋州（オセアニア）などの地域で積極的に受注拡大を図り、地球規模での水不足解消に貢献して参ります。

なお、新会社の概要は以下の通りです。

藍星東麗膜科技（北京）有限公司（略称：TBMC社）概要

（日本語社名：東レ藍星水処理膜科技（北京）有限公司、英文社名：Toray BlueStar Membrane Co., Ltd.）

1. 事業概要 : 下記水処理膜製品の製造・販売・応用開発・技術サービスおよび同製品の輸出入
 - (1) RO膜およびRO膜エレメント
 - (2) NF膜およびNF膜エレメント
 - (3) 浸漬型MF/UF膜エレメント
 - (4) MBR用浸漬型MF平膜モジュール
2. 所在地 : 中華人民共和国北京市順義区天竺空港工業開発区
3. 設立 : 2009年7月17日
4. 資本金 : 3,500万USドル（約35億円）
5. 出資比率 : 東レ株式会社 40.1%
東麗（中国）投資有限公司（東レ子会社） 10.0%
中国藍星（集団）股份有限公司 49.9%
6. 代表者 : 董事長 陸曉宝（藍星出身）
總經理 西池敏明（東レ出身）
7. 新工場概要 :
 - (1) 生産設備 : RO膜製膜設備およびRO膜エレメント自動巻囲機
 - (2) 着工 : 2009年8月
稼動開始予定 : 2010年4月
 - (3) 場所 : 北京市順義区天竺空港工業開発区
 - (4) 設備投資額 : 約5億元（約75億円）
 - (5) 敷地面積 : 26300平方メートル
建屋 : 2階建て16900平方メートル
 - (6) 従業員数 : 180人
 - (7) 外観イメージ図 :



【お問い合わせ先】

東麗（中国）投資有限公司 広報室 TEL [上海] 138-1688-2726
東レ株式会社 広報室 TEL [東京] 03-3245-5179、[大阪] 06-7688-3085